

小菊 7月以降の病害虫防除について

令和6年 7月 11日 (木)

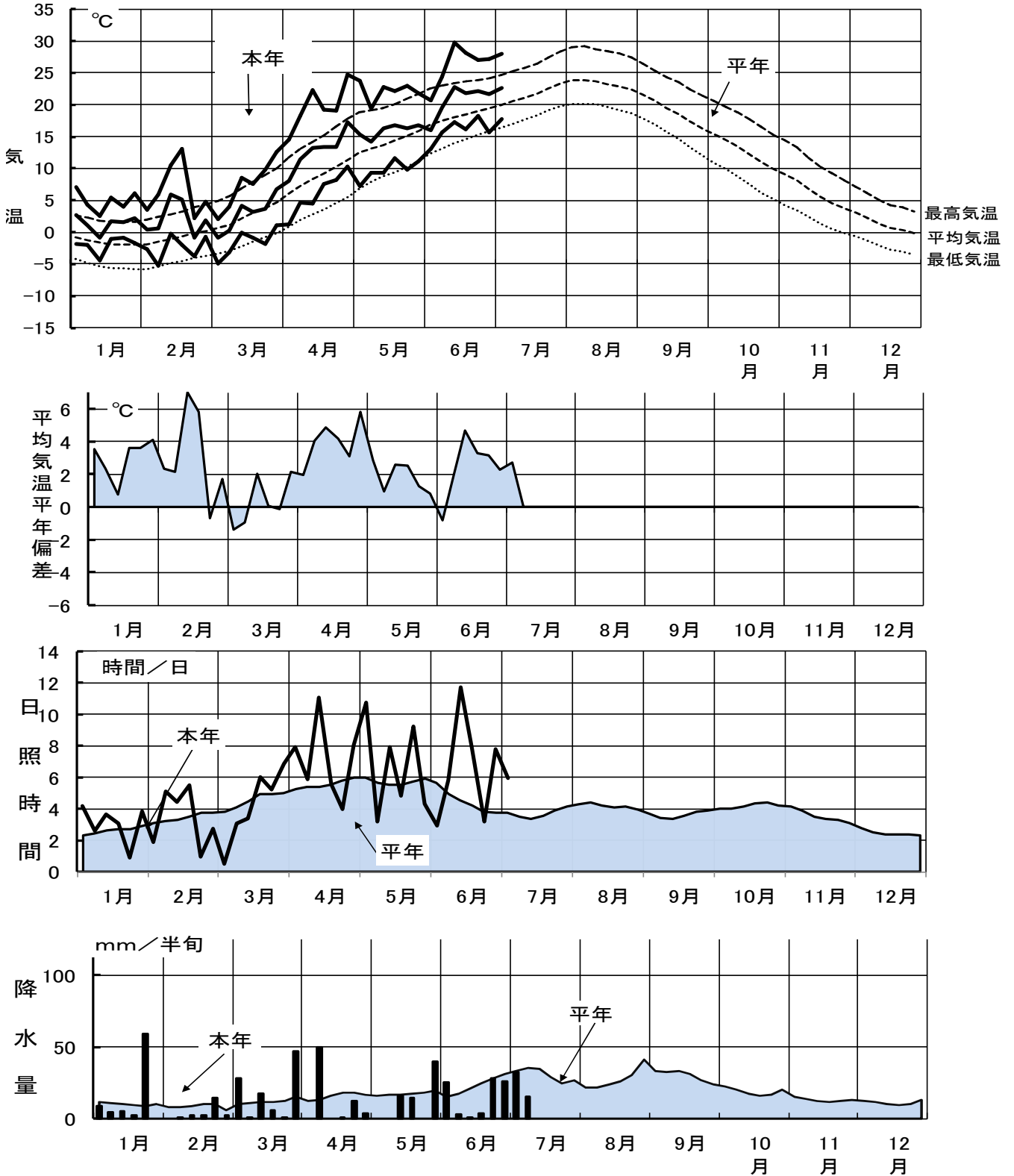
1 気象経過

アメダス若柳観測所 (胆沢区若柳字下松原、標高 100m)

令和6年(2024年)若柳気象経過図

(アメダス若柳観測所(胆沢区若柳字下松原、標高97m))

R6.7.5現在



2 病虫害防除について

気温が高く経過する場合、害虫（ハダニ、オオタバコガ、アブラムシ、アザミウマ）が増えやすい傾向があるため、早期発見や定期的な防除により被害を抑えましょう。

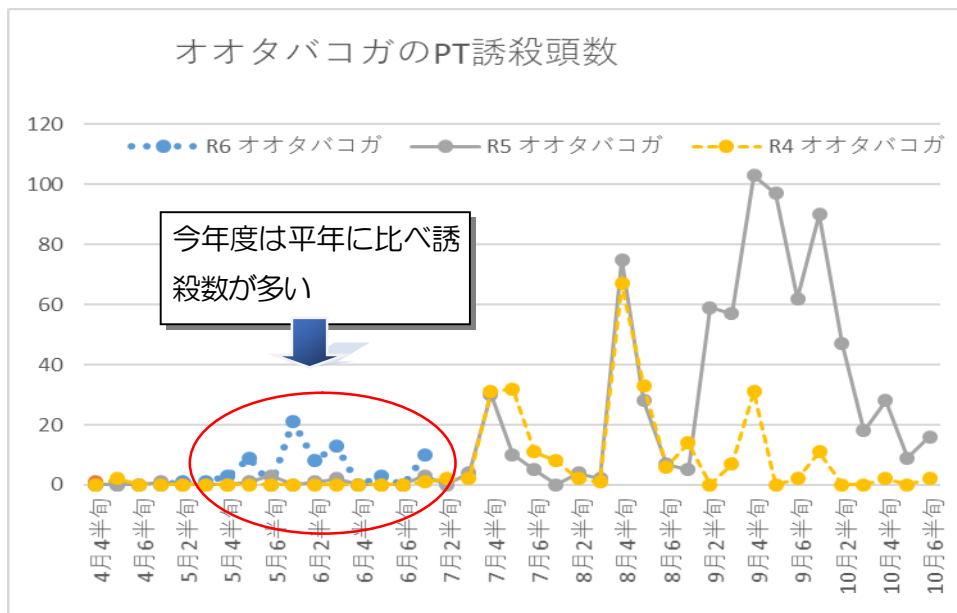
出荷間際の品種は薬剤散布により汚れにくい薬剤を選択して散布します。

◎ 白さび病の防除について

梅雨と秋雨の期間や着蕾後に被害葉が増えやすいです。下記の通り散布を行いましょう。

- 白さび病斑が見える場合
カナメフロアブル 4,000倍 10a当たり 100~300ℓ
- 白さび病斑が見えない場合
防除暦に則り予防効果のある薬剤を中心に早めの防除対応を実施します。

◎ オオタバコガの防除について



夏秋期が高温で経過する場合は長期間被害が見られるため特に注意が必要です

オオタバコガは特に7月以降になりますと県内全域で発生が広がり始めます。幼虫は新芽や蕾を好んで食害します。下記の薬剤散布を1か月間隔で行いましょう。

- 散布時期
1回目…7月中旬、2回目…8月中旬、**(3回目…9月中旬 9月咲き開花が遅い場合)**
- 散布薬剤
フェニックス顆粒水和剤 2,000倍 (ヨトウムシ類にも効果有り) 10a当たり 100~300ℓ

※使用前には必ず容器ラベルを確認し、適正使用を意識しましょう！

令和6年6月24日現在の農薬登録情報による